

戊十月二日

造兵司



蕃地事務局

御中

即日施行

七年十月十九日

御用掛



河村海軍大輔へ御掛合案

過日御談申置候通水雷火試験用ニ付貴省
附属小蒸気形船横須賀ニ有之候分借用致
シ度儀ニ付別紙之通米人ポイントヨリ
申立候随而明十九日午前十時迄ニ横濱製

蕃地事務局

造所へ御廻シ同所ニ罷在候ホイニトシへ
引渡方御取計有之度此段及御掛合候也

平井外務少丞

河村海軍大輔殿

一翰拝呈仕候小汽船機関据付之義用意相整居
候間右小汽船横濱製鐵所迄御送越被下度就而
ハ横須賀一覽之折右船義ハ最早修繕相加居候
趣^レウエルニ^レ氏ヨリ兼及候
右船横濱へ参リ候節橋々経過致候ニ付テハ帆
桅ノ義ハ是非共取卸シ候ハデハ不相濟候依之
横濱へ相廻シ候以前横須賀表ニテ相卸シ候義
都合宜敷存候以上

七十四年十月十八日
イースボイントン

平井少丞殿

貴下

車一套第二百六十七号

小汽船一条致承知候然處過日於當省御約束致
候小汽船之義ハ省內入堀ニ有之候小汽船之義
填存居候然處御書面ニテハ横須賀ニ有之候小
汽船之様ニ相見得候右横須賀之小汽船之義ニ
候ハ、從是相違候共明日之間ニハ逢申間敷隨
前頭齟齬之義ハ御直話不致候而ハ不分明ニ付
明日午前第九時御出省相成候様致度此段御回
答旁申入候也

七年十月十八日

河村海軍大輔

平井外務少丞殿

平井

十月廿日施行

御省車壳套貳百六十九号ヲ以水電火試驗用ニ
付小蒸気船借用云々御拭合之趣致承知候右ハ
本日中ニハ御回シ相成兼候趣ニ者候得共可成
至急御手配今日中歟遲トモ明日迄ニ是非トモ
横濱迄御回シ相成候様致度此段再々及御依頼
候也

七年十月廿日

平井外務少丞

海軍秘書官御中

平井外務少丞殿

車壳套二百六十九号 (平)

水電火試験用ニ付當省附属小蒸気船之儀ニ付
明十八日御掛合之趣并今朝河村大輔へ御紙面
之趣等即主船寮へ相達候處同察ヨリ別紙之通
リ申出候間明日中ニ相廻シ候儀ハ難出来ト存
候付別紙寫相添此段差急キ申進候也

七年十月十九日 海軍秘書官

平井外務少丞殿

海軍事務局

新地事務局

横須賀造船所附小蒸氣船借用云々平井外務少
丞ヨリ之掛合書類御添奉~~奉~~第二百六十八号
ヲ以而今十九日御達之處右ハ本寮ニ於テ差支
有無御答難致候ニ付即刻大至急便ヲ以テ横須
賀表へ申遣候得共如何様取急候而モ右同所ヨ
リ之回答ハ明廿日中ナラテハ當地へ相達兼候
義ト存候奈其旨一應外務省へ御断置相成度此
改申出候也

七年十月十九日

主 船 寮

新地事務局

本省

御中

即日施行 (内)

七年十月廿三日

長官 (大隈)

御用掛 (平井) 代理

海軍省へ御掛合案

在横須賀小湊船水雷火試験用之為メ借用之儀
過日來及御懸合置候處彼是差障之儀有之
由ニ付御省有合之小湊船借用之儀去ル廿日
平井少丞ヨリ河村大輔殿へ御談ニ才ヨレ候

處取調返答可有之答ノ處未又御申越無之隨
而右御省有合ノ分御差支無之記ニ候ハ、西
三日中横濱製作所へ御廻ニ相成度小船ノ儀
ニ付天氣合ニヨリ廻船難相成ニ難計ニ付晴
天之内急速御差廻有之度候此段御掛合ナリ
候也

蕃地夏務局

海軍省

御中

事壹套三百十二号

水雷試驗用之為横須賀造船所附之小汽船借用
被成度ニ付云々過日來御懸合之未當省有合之
小汽船被相廻度義平井少丞ヨリ河村大輔へ談
判ニ付其筋へ為取調候處何分當節柄差障等有
之趣難應御需候付而ハ横須賀造船所附ノ分播
相建候儘暫時ノ儀ニ而宜敷候得ハ御借渡可申
棟最前平井少丞へ及回答候奈其外御廻可致外
無之候間至急其筋へ回船之都合且日限等取極

可申出旨相達置候此段差急御回答旁申進候也

明治七年十月廿五日海軍省

蕃地事務局

御中

七年十月廿九日

即日施行(山)

長官(良)

御用掛

(弄)

(報)

(野)

(國)

海軍省へ御回答案

水雷火試験用ニ付横須賀造船所附小汽船同
所ニツイテ差支無之今廿九日午前十時横須
賀出帆横濱へ回航云々御申越ノ趣致承知候
右ハ横濱製作所近傍橋梁有之付橋取卸シ

御差回之有之度旨兼テ申進置候間定テ播取
卸之回濱相成候儀ト存候以段御回荅旁申進
候也

平井外務少丞

海軍秘書官

御中

事志套三百二十四號

水雷試驗用ニ付横須賀造船所附之小汽船御回
可申付テハ廻船之日限等取極追テ從是可申進
様過日及御回荅置候處右ハ於同所差支魚之即
今廿九日午前第十時横須賀出帆横濱相廻可申
趣其筋ヨリ申出候條其旨御承知相成度以段申
進候也

七年十月廿九日

海軍秘書官

平井外務少丞殿

七年十月十八日

長官大隈

御用掛

榎圃

平井

河野

海軍省ヨリ別紙ノ通申越候間供御一覽候也

海軍省御用掛

海軍省御用掛